

ハスモンヨトウ

発生条件

秋季に発生が多い。とくに、夏季を高温少雨で経過した年の9～10月に多発する。
越冬源の多い施設栽培地帯で発生が多い。



若齢幼虫による被害

卵は100～300粒の卵塊で葉裏などに産み付けられる。ふ化幼虫は集団で葉を食害する。



中齢幼虫による被害

しだいに分散するので被害株が増える。摂食量が多いので被害が大きい。



中齢幼虫

頭部やや後方に1対の黒斑があるのが特徴。老齢幼虫は体長50mm前後になる。